

「気仙沼市東日本大震災追悼と防災のつどい」を開催しました（2022/3/11）

テーマ：東日本大震災 11 年、気仙沼市、防災教育、震災伝承
場 所：気仙沼中央公民館（宮城県気仙沼市）

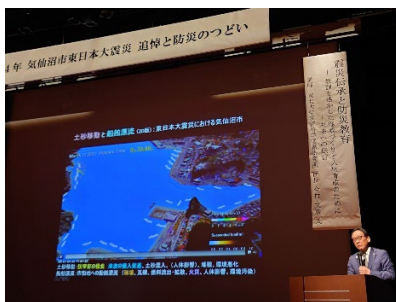
3 月 11 日（金）、令和 4 年「気仙沼市東日本大震災追悼と防災のつどい」を開催しました（主催：気仙沼市、共催：東北大学災害科学国際研究所）。今年は、「追悼式」を縮小したり、献花台の設置に切り替えたりした自治体が多くありました。気仙沼市では「追悼と防災のつどい」ということで、犠牲者を悼みつつ、3.11 の記憶と教訓を未来につなぎ、全国発信するための「防災教育の場」とかたちを変えての開催となりました。

当研究所からは、今村文彦所長・教授（津波工学研究分野）が基調講演、ならびにパネルディスカッションでのアドバイザーを、佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）がワークショップのアドバイザー、パネルディスカッションのモデレーターをつとめました。また、新家杏奈氏（津波工学研究分野 博士課程後期 2 年）が、気仙沼市で取り組んでいる防災教育についての報告をしました。気仙沼分室では、ブース展示も行い、たくさんの方に足をとめていただきました。

会場には定員を上回る 190 名以上の方が聴講し、ウェブ配信の視聴もありました。途中、14 時 46 分には会場全体で黙祷を捧げました。このつどいを通して、教訓の伝承や防災教育の推進への誓いを新たにしました。

【次第】

- NHK グループ・「真夜中の津波警報、あなたの選択」ワークショップ
アドバイザー：当研究所 佐藤翔輔 准教授
- 基調講演 「震災伝承と防災教育－教訓を活かした地域づくりと人材育成のために－」
当研究所 今村文彦 所長・教授
- 活動報告 地区防災の取組事例 鹿折まちづくり協議会 熊谷英明 会長
市内防災教育の取組状況 東北大学大学院 博士後期課程 新家杏奈氏
- 一斉追悼
- パネルディスカッション 鹿折中学校 菅原定志 校長、畠山愛生優さん
気仙沼向洋高等学校 岸貴司 教諭、只野愛実さん、阿部蓮さん
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 熊谷心 副館長
気仙沼市危機管理課 阿部久人 危機管理監兼課長
アドバイザー：今村文彦 所長・教授、気仙沼市 菅原茂 市長
モデレーター：佐藤翔輔 准教授



会場の様子



今村文彦所長



パネルディスカッション



新家杏奈氏



ワークショップ



気仙沼分室展示ブース

文責：今村文彦（津波工学研究分野）、佐藤翔輔（防災社会推進分野）